

ISOLAB'05 30th SSOEL-JAPAN MEETING 体験記

前田 淳（大阪府立大学大学院工学研究科物質化学系専攻修士課程）

j-maeda@chem.osakafu-u.ac.jp

6月27日から7月2日にかけてISOLAB'05が新潟の朱鷺メッセで開催され、私は初めて参加する学会ということもあり、不安と緊張でいっぱいでした。

会場はとてもきれいな所で、参加者もリラックスしていて自分の思っていた国際会議のイメージとは少し異なっており、幾分緊張が和らいだのを覚えています。しかし、いざ発表が始まると空気が変わり、また慣れない英語での発表ということもあり緊張感が高まっていきました。

私は、二日目のポスター発表に参加しており口頭発表とは違うのですが、口頭発表がすばらしいので自分の発表の時間が近づくにつれてプレッシャーが大きくなっていきました。ポスター発表が始まると思ったよりも和やかなムードで少し安心しました。最初は何をしたらいいのかわからず立ちすくんでいましたが、徐々にポスター発表の意味を理解し自分の研究内容や、結果、そして考察を述べたり、逆に色々なことを教えられたりもしました。また、これからの目標や雑談を交わしたり、他の参加者の研究内容を聞きに行ったりしているとあっという間に時間が過ぎていきました。

三日目は大学の特殊講義のため昼までしか発表を聞けませんでした。短い期間だったとはいえ多くの人に出会い、様々な発表や考え、様々な研究に触れることができとてもよい経験になったと確信しています。

また、今回の学会で衝撃を受けたことのひとつに英語をすらすらと話す日本人というのがあります。身近にそういう環境や人がいないだけにそれはかなりの衝撃でした。将来、今回のような国際会議や社会に出ても英語は必須のものとなるので、研究発表なども含めて改めて自分の未熟さを感じる学会でした。

最後になりましたが今回の学会に参加するにあたり、生命の起原および進化学会の皆様には資金面等で大変お世話になりました、心からお礼を申し上げます。